

『一生感動』

うち飾られし王車も古び
この身もまた 老いに至らん
されど心ある人の法は
老いることなし

(法句經)

瑞光



総本山禅林寺法主徹也・隆明



京都大学の大島名誉教授は、脳を
活性化させる「かきくけこ運動」を
提唱しておられます。
か・感動 き・興味 く・工夫
け・健康 こ・恋
いたずらに自らの老いを嘆くより
も、いきいきと青年の心で感動を求
め、今を生きなければと勇気づけら
れます。
でも、どんなに若ぶってみても、
老いてゆくことには間違いがありま
せん。若さを自慢するよりも、老いを
自慢できる人生こそが大切なのです。
老いることのない佛法に親しみ、生
かされている生命に感謝しながら、
この人生を歩まさせていだきたい
ものです。

総本山 永観堂 禅林寺

起

行

(きぎよう)

起行



総本山禅林寺徹也隆明



心許なく

よちよちと

危うい足取りで

幼子おきなこが

一步一步と

歩むことが

できるのは

抱きかかえてくれる

母の懐ふところが

そこにあるから

転ぶことを

恐れることはない

さあ

歩き始めよう

弥陀の

懐を目指して

総本山 永観堂 禅林寺

おしむといえども
死するは人の命なり

法然上人

(流罪の時に門弟に示されける御詞)

本尊

おしむと

いえども

死するは

人の命なり

法然上人

総本山 禅林寺 徹也 隆明



幼い我が子を、親の不注意で亡くしてしまった親は、半狂乱のまま、葬儀を終えました。

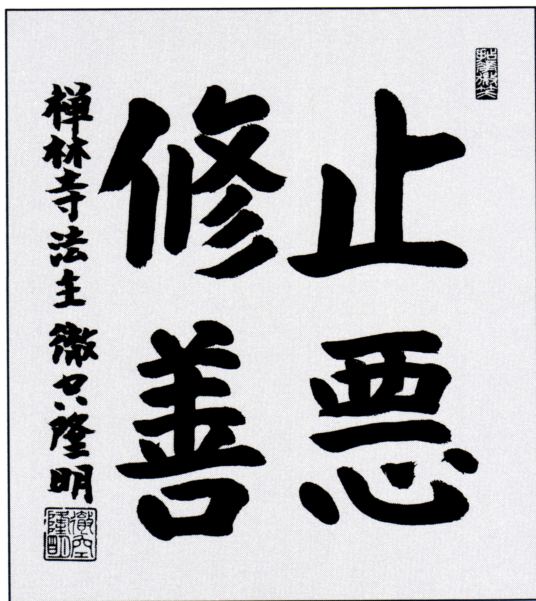
数時間後、小さな遺骨になって帰ってきた我が子を抱きしめつつ、詫びの言葉を発します。が、その事実を拒絶したいという思いにかられ、心は凍ったままです。

その親の心を溶かしたのは、念佛をお唱えせよ、という祖母の声でした。もう手の届かないところへ旅立った子どもには、念佛の声だけが支えになるからと、お念佛を始めました。

夢の世にあだにはかなき身を知れと教えて還る子は知識なり(和泉式部)その念佛の声で、その親も済わっていくのです。

総本山 永観堂 禅林寺

止悪修善



ついつい悪いことをし、
なかなか善が行えない私。
人を傷つけ、人を妬み、
自慢をする私。

そんな自分の嫌な部分に気付いて
いても、どうしようもない私。

しかし、阿弥陀様は、
見捨てたりはしません。

そんな私だから、
手を差し伸べて下さいます。

誰かが手を貸さないのなら、
阿弥陀様が貸してやろうと言って
くださるのです。

そう言われると、まだ、私にも
何か出来そうな気がします。

少しでも悪を止め、少しでも善を
行えるような気がします。

総本山 永観堂 禅林寺

衣食住は念佛の助業なり

(法然上人)

衣食住は

念佛の

助業なり

法然上人

禅林寺法主徹空隆明



書道で使う筆。その筆の真ん中には、命毛いのちげという中心となる毛があつて、その毛を取り巻くようにして、一本の筆の形になります。

書の基本は、その命毛がまっすぐ中心にくるように筆を使うことです。(これを直筆ちよくひつと言います) 命毛をまっすぐにして書かれた書は、とても美しい文字になります。

念佛者にとっては、念佛は命毛であり、取り巻く筆毛は、日常の生活となります。

それは、すべてが念佛の上に生かされるようになり、生活の全てが、念佛を生かす力になっていくのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明現下のご染筆です。前々号の色紙は、大分県白杵市在住 野上高子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十五日に、抽籤で一名に進呈。

慈父慈母

慈父と慈母との重養の恩によりて
一切の男女みな安楽なり

(心地観経)



「おふくろの味が減り、ふくろの味ばかりになった母。しつけが出来ず、おしつけの教育を強制する父」を、厭う子どもがいる。

「息子よ、娘よ。幼い頃、私たちのたからものだったお前たちが、今では家のたかりものと化した」と嘆く親がいる。

親子が、夫婦が、いがみ合うのではなく、おがみ合う家庭でありたいものです。

人としてこの世に生まれた以上、憎しみにとらわれるのではなく、慈悲をよりどころにして生きたいものです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、大阪市中央区在住 福田忠博様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。七月十五日に、抽籤で一名に進呈。

戒香薫習

よき香が四方に薫るように、
よき行いをすれば、
その功德は四方に亘る



ふと口から出る歌は、今時の刺激的なリズムではなく、心に染みいる詩であることのほうが多い。

毎日の生活も時々は時流にまかせることもあるが、結局幼い頃からのリズムに戻っている。たとえば、氣取ってフランス料理を食べに行っても手を合わせて「頂きます」と言ったり、頂き物があれば、先に仏様にお供えしたり。思い出せば、それは親がいつもしていたこと。

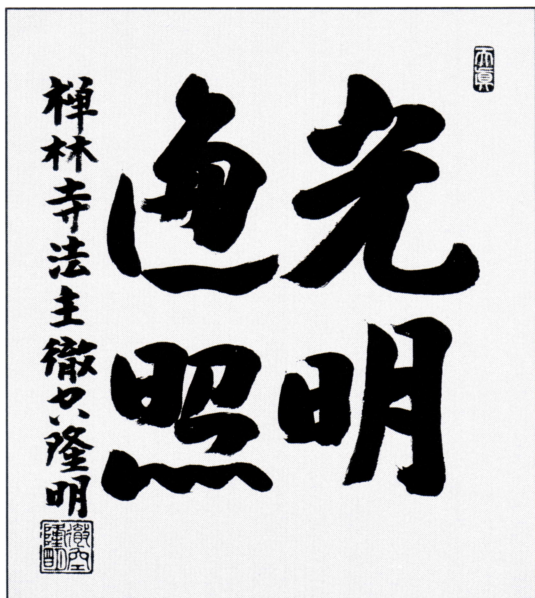
淨らかな行いを心がけていれば、いずれ、香のように周りに伝わっていくもの。子供にとってはなおさらのこと。大切なことは決して言葉や上辺だけでは伝わらないのですから。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住 馬場みどり様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。八月十五日に、抽籤で一名に進呈。

光明遍照

(観經)



私に出来ること

皆に笑顔

私にもできること

皆の笑顔

私にしか出来ないこと

皆に笑顔

私には出来ないこと

皆に、ほんとうの笑顔

こんな私でも、

御仏の光は届くのでしょうか。

こんな私だから届いて欲しい。

なむあみだぶつ、

なむあみだぶつ。

総本山 永観堂 禪林寺

自策
自勵

みずか
みずから策し勵まして
とわ
永遠の住家を求めよや

大木淳夫訳『日没無常偈』

自策
自勵

禪林寺法主 徹也 隆明



ゆるやかに渚を流るる水の如く

深く静かに老いてゆきたし

五十代は曲がり角

まだまだ遠くに明かりが見える

六十代は粹な季節

もう一度燃えねばならぬ

七十代は世のしめくくり

ぼちぼち身辺ととのえて

八十、九十で

そろそろまいりましょうか

あるお寺の掲示板にあった言葉です。

人はみな必ず老いてゆきます。ならば

空しく老いるより、深く静かに美しく

老いるために「自策自勵」いたしましょう。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住 柏原一彦様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十月十五日に、抽籤で一名に進呈。

克己

自己に打ち克つことは、他の人々に勝つことよりもすぐれている。

(ウダーナヴァルガ 23-4 / 5)

克己



禅林寺法主 徹世隆明



プロゴルフファーストの第一人者タイガー・ウッズは、「スイングの時にクラブヘッドが遅れる。これが僕の弱点だ。この欠点が僕を練習に駆り立てる」と話しています。

自分でわかっている欠点を、他人から指摘されると腹が立つものです。

しかし、自己を見つめなおす機会を頂けたと思えば、手痛く感じる指摘も、仏の声と聞こえるでしょう。

普段の生活の中で、仏の声を頂いていると受け取る心を持ちたいものです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明宛下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県武儀郡在住 安田政子様へ贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十五日に、抽籤で一名に進呈。

彼此三業不相捨離

(善導大師『觀經疏定善義』)



私が「なむあみだぶつ」と口に
称えんと、阿弥陀様は聞いていて
下さる。

私が阿弥陀様に手を合わすと、
阿弥陀様は慈しみの眼で私を見て
いて下さる。

私が阿弥陀様を心に思うと、阿弥
陀様も私のことを心配して下さる。

私達の日常生活は、口で話す、
身体でする、心で思う、の三つに
分けることが出来ます。

阿弥陀様が私達の身・口・意に
呼応して下さるのは私達の力では
ありません。御本願を成就された
阿弥陀様のお徳が、私達に働きか
けて下さるのです。嬉しいですね。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長・五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住・松田正義様に贈呈いたします。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十五日に、抽籤で一名に進呈。

洪鐘響くといえども

必ず扣くを待ちてまさに鳴る

(善導大師『観経疏序分義』)



洪鐘響くといえども

必ず扣くを待ちて

まさに鳴る

禅林寺法主徹空隆明

ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。一月十五日に、抽籤で一名に進呈。



撞いて
みなされや

力を込めて
釣鐘を

撞いて
みなされや

ゴーンと
腹の底まで

響きこよう
唱えて

みなされや
声高らかに

念仏を
唱えて

みなされや
ジーンと

仏の慈悲が
心の底まで

響きこよう
撞けばこそ

唱えればこそ

総本山 永観堂 禅林寺